

音更町ブロッコリー運営協議会

- AI自動収穫機を活用し、収穫作業の省力化を図るとともに、鉄コンテナを利用した大ロット出荷方式へ転換
- サービス事業者と連携し、AI自動収穫機による収穫作業を同事業者へ委託
- 食品等事業者は、鉄コンテナを受入れ可能な集出荷施設へ改修

経営上の課題

＜ブロッコリーの収穫における課題＞

- ・現状は、手作業で収穫しており、出荷規格に合わせて収穫するため、一つ一つの花蕾の大きさ等を目視で判別しながら、多くの人員を投入して収穫作業を行っている。
- ・ほ場から集出荷施設へのお荷については、現状、小型のプラスチックコンテナを使用しており、非効率であるとともに、その運搬等には人手を要する状況となっている。

生産現場では、少子高齢化や人件費の高騰等により、人手を確保することが難しく、持続的な営農が困難となっている。

申請者

音更町ブロッコリー運営協議会（主幹事務局：JA木野）
（北海道音更町）

対象品目

ブロッコリー

スマート農業技術

AI自動収穫機

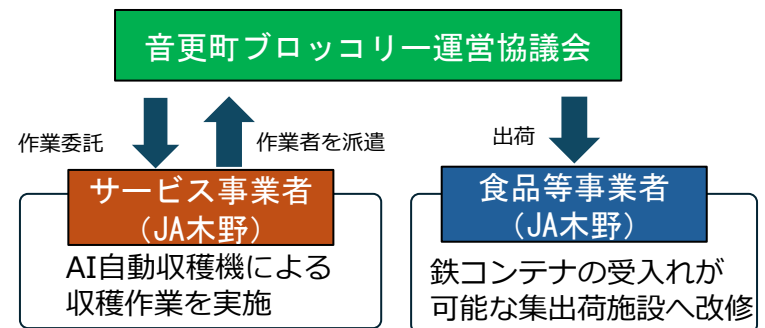
新たな生産方式

小型のプラスチックコンテナ詰め出荷から鉄コンテナを利用した大ロット出荷方式へ転換

活用予定の支援措置

補助事業の優遇措置

計画の概要



新たな生産方式の導入

・スマート農業技術（AI自動収穫機）の活用

花蕾の大きさ等をAIが判別し、規格に適合する花蕾のみを自動収穫するスマート農機を活用することにより、これまで手作業で行っていた収穫作業が大幅に軽減

・スマート農業技術に適合した出荷方法の導入

従来のプラスチックコンテナから鉄コンテナによる出荷に切り替えることにより、出荷に要する時間を短縮し、労働生産性が向上



A I 自動収穫機の活用
（R10年販売予定）

プラスチックコンテナで
人力により圃場外へ搬出



鉄コンテナによる出荷